



TITLE:

<活動報告>技術支援一覧表 (2012年度)

AUTHOR(S):

CITATION:

<活動報告>技術支援一覧表 (2012年度). 技術室報告 2013, 14: 46-54

ISSUE DATE:

2013-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/233487>

RIGHT:

■2012年度技術支援一覧表

[短期支援]

No.	申請年月日	実施期間	担当者	連絡先	依頼内容
1	2012/4/3	自)2012/04/03 至)2012/04/10	山崎 友也	教員名：馬場 康之 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：河川防災システム	白浜海象観測所ユーザグループ用MLの構築 白浜海象観測所では、観測施設ならびに観測データを使う方々を対象にユーザグループを作っております。ユーザ間の情報、意見などの交流の場の確保、および交流の促進のために、MLの構築をお願いいたします。
2	2012/4/4	自)2012/04/05 至)2012/04/05	久保 輝広	教員名：林 泰一 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：流域圏観測	気象観測装置のトラブル対応 4-3の停電における、潮岬風力実験所内気象観機器トラブルの修復作業に支援を希望する。
3	2012/4/9	自)2012/04/10 至)2012/04/12	加茂 正人	教員名：松四 雄騎 グループ名：地盤研究 部門センター名：地盤災害研究 分野領域名：山地災害環境	黒色泥岩の化学風化メカニズムに関する実験的研究 アクリル板による供試体ダミー円盤の作成 (50 mmD x 5 mmT)
4	2012/4/17	自)2012/04/23 至)2012/05/02	三浦 勉	教員名：大見 士朗 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震防災研究 分野領域名：地震発生機構	上宝観測所保管のプレスユース地震計記録のデジタル画像化 上宝観測所で記録された標記の記録のうち、プロマイド方式の記録10枚程度を今後のデータベース化のために試みにデジタル画像化する
5	2012/4/27	自)2012/05/01 至)2012/07/31	中尾節郎	教員名：MORI, James Jiro グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震防災研究 領域分野名：地震発生機構	断層面上の不均一な応力・強度分布の解明 臨時地震観測点の設置および維持。地震計、とくにセーセル社製L-4C-3Dの扱いに精通していること。データロガー、特に白山工業製LS7000XTの扱いに精通していること。地震波形の異常の有無の確認や震源決定等ができること。
6	2012/5/1	自)2012/05/01 至)2012/05/01	米田格	教員名：林 泰一 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 領域分野名：流域圏観測	気象観測 潮岬風力実験所の通常気象観測データの転送用のパーソナルコンピュータが不調になり、その原因解明およびハードディスク内容の救出、新たなコンピュータの立ち上げなど。
7	2012/5/9	自)2012/05/09 至)2012/05/09	三浦勉	教員名：横松 宗太 グループ名：総合防災研究 部門センター名：巨大災害研究 領域分野名：災害リスクマネジメント	国際学会の事務 thunderbirdのメールアドレスの設定をお願いしました。
8	2012/5/10	自)2012/05/25 至)2012/05/27	山崎友也	教員名：中島 正愛 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震防災研究 領域分野名：耐震機構	災害の防止ならびに軽減に関する研究 振動台実験にかかる情報交換及び資料収集、及び災害の防止ならびに軽減に関する研究のデータベース作成打合せ。
9	2012/5/12	自)2012/05/15 至)2012/05/16	三浦勉	教員名：西上 欽也 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 領域分野名：地震予知情報	北陸観測所における地震・地殻変動観測 北陸観測所における地震データ伝送経路の変更作業、観測所内における計算機・ネットワーク環境の変更作業、今後観測坑からのデータ送信に切り替えるための準備、地震・地殻変動観測および計算機環境などの現状確認と今後の変更の検討。

10	2012/5/17	自)2012/07/07 至)2012/07/09	小松信太郎 濱田勇輝	教員名：堤 大三 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 領域分野名：流砂災害	奥飛騨 砂防・土木技術者研修会 砂防・土木技術者研修において実施する、ヒル谷試験堰堤からの土砂排出実験の補助作業をお願いする。
11	2012/5/19	自)2012/05/29 至)2012/05/31	中尾節郎	教員名：飯尾 能久 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 領域分野名：内陸地震	満点計画 鳥取・島根県とその周辺の稠密観測網で用いられている地震計の防水対策。
12	2012/5/22	自)2012/06/25 至)2012/06/29	辰己賢一 米田格	教員名：山崎 健一 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 領域分野名：リアルタイム総合観測	宮崎観測所観測研究環境整備等 公用車の運搬2件（内訳：宇治地区から宮崎観測所へ、及び宮崎観測所から阿武山観測所へ）。観測機器の移動（注：郵送の難しい精密機器）。使用を終えた観測機器・棚等の撤去作業。観測所敷地内の環境整備
13	2012/5/27	自)2012/06/19 至)2012/06/22	濱田勇輝	教員名：飯尾 能久 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 領域分野名：内陸地震	飛騨山脈における流体の動きの解明 長野県西部地域に展開されている、満点地震計および10kHzサンプリングの地震計のメンテナンスを行う。
14	2012/6/12	自)2012/06/12 至)2012/06/12	富阪和秀	教員名：松浦 純生 グループ名：地盤研究 部門センター名：地盤災害研究 領域分野名：傾斜地保全	強風時の山地斜面における融雪特性に関する実験 融雪実験に使用する装置の製作
15	2012/6/14	自)2012/06/14 至)2012/06/14	川崎慎吾	教員名：飯尾 能久 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 領域分野名：内陸地震	別府ウィーヘルト地震計記録の受け入れ準備 阿武山観測所内に別府のウィーヘルト地震計の記録を保管するための場所を確保する
16	2012/6/2	自)2012/06/20 至)2012/06/20	高橋秀典	教員名：中川 一 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 領域分野名：河川防災システム	ストラスブルク大学との遠隔会議 フランスのストラスブルク大学から短期留学生（修士）として来日している学生が、インターンシップの成果報告（中間評価）のプレゼンテーションを6月20日（水）午後8時から実施する予定である。H. 323の規格に合った遠隔TV会議システムが学内または所内にあるかどうかを確認したうえで、事前の接続テストと本番の2回、いずれもハード面の操作をお願いしたい。
17	2012/6/26	自)2012/06/26 至)2012/06/26	久保輝広	教員名：馬場 康之 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：河川防災システム	和歌山市・和田川流域で発生した浸水被害のこん跡調査 2012年6月に和歌山市・和田川流域で発生した浸水被害のこん跡調査
18	2012/7/26	自)2012/08/01 至)2012/10/31	中尾節郎	教員名：MORI, James Jiro グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震防災研究 分野領域名：地震発生機構	断層面上の不均一な応力・強度分布の解明 臨時地震観測点の設置および維持。地震計、とくにセーセル社製L-4C-3Dの扱いに精通していること。データロガー、特に白山工業製LS7000XTの扱いに精通していること。地震波形の異常の有無の確認や震源決定等ができること。
19	2012/8/7	自)2012/09/13 至)2012/09/15	久保輝広	教員名：馬場 康之 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：河川防災システム	新入生向け少人数セミナー科目(ポケット・ゼミ)の実施 2012年9-13～9-15に、新入生向け少人数セミナー科目(ポケット・ゼミ)を白浜海象観測所および潮岬風力実験所において実施する。ポケットゼミでは、河川、沿岸域での観測実習、気象項目に関する現地計測を行う予定であり、上記観測、実習に関する補助をお願いしたい。

20	2012/9/13	自)2012/09/25 至)2012/09/27	三浦勉 濱田勇輝 川崎慎吾	教員名：西上 欽也 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 分野領域名：地震予知情報	白山自然保護センターにおける地震観測機器の保守 石川県・白山自然保護センターに設置している地震観測機器の保守（衛星送信機の交換、地震計の点検・保守）。宇治より2名、上宝観測所より1名。
21	2012/9/18	自)2012/09/24 至)2012/09/27	久保輝広	教員名：馬場 康之 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：河川防災システム	2012年度多階層地球変動科学実習？（理学研究科） 掲題実習は、白浜、潮岬の隔地施設において実施される。白浜での実習では、田辺湾内での計測実習を予定しており、観測船の操船、現地計測の補助等が依頼内容である。
22	2012/10/2	自)2012/10/02 至)2012/10/12	加茂正人 富阪和秀 小松信太郎	教員名：松四 雄騎 グループ名：地盤研究 部門センター名：地盤災害研究 分野領域名：山地災害環境	簡易一面せん断試験器による粘性土の強度評価 含水比を調整した粘性土試料のせん断強度を測定するにあたって、非排水状態での試験を行うため、排水可能なボーラス底面を持った既存のせん断箱を改良し、新たに板状の非排水性の底面からなるせん断箱を製作する。
23	2012/10/5	自)2012/10/15 至)2012/10/19	松浦秀起	教員名：馬場 康之 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：河川防災システム	河川リアルタイムデータ取得・配信システムの更新 宇治川オープンラボラトリー内（第4実験棟）に設置されている河川リアルタイムデータ取得・配信システムについて、更新作業を行う
24	2012/10/11	自)2012/10/12 至)2012/10/12	久保輝広	教員名：林 泰一 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：流域圏観測	平成24年度 潮岬風力実験所 本館耐震改修工事 潮岬風力実験所本館の耐震改修工事に伴う観測機器移設作業。（本館から旧観測室へ）
25	2012/10/18	自)2012/10/27 至)2012/10/27	久保輝広	教員名：馬場 康之 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：河川防災システム	京大ウィークス（白浜）・見学、観測体験の実施 10-27に白浜海象観測所において、京大ウィークスの一環として施設の見学、現地観測の体験を行う
26	2012/10/26	自)2012/11/01 至)2013/01/31	中尾節郎	教員名：MORI, James Jiro グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震防災研究 分野領域名：地震発生機構	断層面上の不均一な応力・強度分布の解明 臨時地震観測点の設置および維持。地震計、とくにセーセル社製L-4C-3Dの扱いに精通していること。データロガー、特に白山工業製LS7000XTの扱いに精通していること。地震波形の異常の有無の確認や震源決定等ができること。
27	2012/11/8	自)2012/11/22 至)2012/11/22	富阪和秀 山崎友也 米田格	教員名：松四 雄騎 グループ名：地盤研究 部門センター名：地盤災害研究 分野領域名：山地災害環境	大津市葛川地域における斜面電気探査 大津市葛川地域における水文観測サイトにおいて、斜面の水文地質構造を把握するための電気探査を行う。100 m測線に沿う1.5 m間隔での電極設置、ケーブル配線、接地抵抗調整および比抵抗計測
28	2012/11/22	自)2012/12/02 至)2012/12/06	濱田勇輝	教員名：飯尾 能久 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 分野領域名：内陸地震	飛騨山脈における地殻流体の実体の解明 長野県西部地域において、10kHzサンプリング、および満点地震観測装置のメンテナンスを行う。
29	2012/11/27	自)2012/12/10 至)2012/12/10	山崎友也	教員名：松四 雄騎 グループ名：地盤研究 部門センター名：地盤災害研究 分野領域名：山地災害環境	大津市葛川地域における水文観測機器の積雪対策 2012年11月までに当観測サイトに設置した水文観測機器について、今冬の積雪による圧迫から流量堰と水位計を防護するため、雪除け屋根設置等の対策を施す。

30	2012/12/13	自)2012/12/14 至)2012/12/14	久保輝広	教員名：林 泰一 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：流域圏観測	潮岬風力実験所内ネットワーク環境整備 潮岬風力実験所内におけるアクセスポイントおよび周辺機器の撤去作業。アクセスポイント入れ替えの為に打合わせ。
31	2012/12/15	自)2012/12/12 至)2012/12/15	米田格	教員名：林 泰一 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：流域圏観測	潮岬風力実験所内ネットワーク環境整備 潮岬風力実験所、白浜海象観測所のネットワーク環境の整備に1名の派遣が必要
32	2012/12/15	自)2012/12/25 至)2012/12/25	米田格	教員名：林 泰一 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：流域圏観測	潮岬風力実験所内ネットワーク環境整備 流域圏観測領域と潮岬風力実験所と白浜海象観測所のデータ収集に関する環境整備の打合せ。
33	2013/1/29	自)2013/02/18 至)2013/02/18	小松信太郎	教員名：山崎 健一 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 分野領域名：リアルタイム総合観測	伸縮計センサー部の改良 地震予知研究センター宮崎観測所では、地中の横穴内に設置した伸縮計・水管傾斜計等を利用した地殻変動連続観測を実施しているが、経年劣化等により、研究目的の使用に堪える安定したデータの継続的収録が難しいのが現状である。そこで伸縮計等の改良が必要だが、用いている伸縮計等はほとんどが技術職員の支援により作成された自作の機器を用いているため、改良も独自に行う必要がある。宮崎観測所の工作室では設備の上で十分な作業が実施できないため、宇治地区の工作室を使用することが望まれる。機械加工に長けた技術職員1名にこの作業をお願いしたい。
34	2013/1/30	自)2013/02/01 至)2013/03/31	中尾節郎	教員名：MORI, James Jiro グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震防災研究 分野領域名：地震発生機構	断層面上の不均一な応力・強度分布の解明 臨時地震観測点の設置および維持。地震計、特にサーセル社製L-4C-3Dの扱いに精通していること。データロガー、特に白山工業製LS7000XTの扱いに精通していること。地震波形の異常の有無の確認や震源決定等ができること。
35	2013/2/5	自)2013/01/31 至)2013/01/31	久保輝広	教員名：林 泰一 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：流域圏観測	潮岬風力実験所内ネットワーク環境整備 潮岬風力実験所内におけるアクセスポイント及び周辺機器の設置、配線、設定作業。
36	2013/2/21	自)2013/02/25 至)2013/03/01	富阪和秀 山崎友也	教員名：松浦 純生 グループ名：地盤研究 部門センター名：地盤災害研究 分野領域名：傾斜地保全	積雪荷重が再活動型地すべり地の水分浸透特性に与える影響 当研究室では、積雪期間に現地浸透試験を実施する予定となっている。その際、塩ビパイプ及びアクリルパイプを地表面から約10cm程度まで打設したいと考えている。この作業を容易にするため、パイプ類のエッジ加工をお願いしたい。
37	2013/2/25	自)2013/03/21 至)2013/03/22	久保輝広 市田兎太郎	教員名：馬場 康之 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：流域圏観測	研究領域の活動に関する打ち合わせ 流域災害研究センター・流域圏観測研究領域は、隔地施設間の連携を取りつつ、活動を展開している。今年度の活動の総括ならびに次年度に向けた課題などの整理を、関係者が集まり打ち合わせを行う。
38	2013/3/7	自)2013/02/07 至)2013/03/07	三浦勉	教員名：山田真澄 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震防災研究 分野領域名：地震発生機構	地震火山活動モニタリング 地震火山ディスプレイの更新に伴い、古いディスプレイの解体作業

[長期支援]

1	2012/4/2	自)2012/04/01 至)2013/03/31	山崎友也	教員名：倉田 真宏 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震防災研究 分野領域名：耐震機構	被災建築物の継続使用の可否を判定するモニタリングシステムの開発 建築物のモニタリングシステムのセンサ端末から得られるデータを自動的にオンライン上のデータベースに送信し、閲覧できるシステムを開発しており、これに関連して、リレーショナルデータベースの設計とデータ閲覧用WebViewerの開発の技術援助をお願いしたい。
2	2012/4/20	自)2012/04/01 至)2012/03/31	三浦勉	教員名：西上 欽也 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 分野領域名：地震予知情報	地震・地殻変動等の観測にもとづく地震発生およびその予測に関する研究 地震・地殻変動観測システムおよびそのデータ処理システムの維持・保守、公用車の維持・保守、その他各種観測への技術的支援、および関連するセンター内委員会への参加
3	2012/5/2	自)2012/05/01 至)2012/03/31	加茂正人	教員名：丸山 敬 グループ名：大気・水研究 部門センター名：気象・水象災害研究 領域分野名：耐風構造	境界層風洞における風速・風圧計測および対飛散物衝撃試験 境界層風洞実験室では建物周囲の風速場の測定および建物に加わる風圧力の測定、さらに、建物外装材の対飛散物衝撃試験を行う
4	2012/5/7	自)2012/05/28 至)2012/11/30	富阪和秀 三浦勉 山崎友也 加茂正人 辰己賢一 米田格 川崎慎吾	教員名：松四 雄騎 グループ名：地盤研究 部門センター名：地盤災害研究 領域分野名：山地災害環境	地形と山体地下水分布・崩壊危険箇所分布の対応の解明 防災研究所受託研究を行うための地下水湧出のある斜面における流量観測堰の設置および観測
5	2012/5/8	自)2012/04/01 至)2013/03/31	松浦秀起	教員名：堀 智晴 グループ名：大気・水研究 部門センター名：水資源環境研究 領域分野名：地球水動態	広報出版企画室支援 広報出版企画室の業務：防災研究所の刊行物（年報、要覧が主担当）発刊作業。防災研究所HPの管理運営（日英両方の公式サイトおよび掲示板等）。対外広報（メディア、一般の問い合わせ等）対応。外部来訪者の対応（部屋の設営、講演サポート等）。広報出版専門委員会、広報出版企画室の予算策定、経理等。防災研究所のデータベースシステムの管理運営（職員総覧、研究発表講演会発表受付、セミナー室予約システム、等）。広報出版専門委員会、行事推進専門委員会、広報出版企画室ミーティングの参加、およびメーリングリストの管理。広報出版企画室の安全衛生、環境整備。公開講座、オープンキャンパス、研究発表講演会（懇親会含む）のサポート（Webページ作成、デザインを含む）。防災研究所HP管理運営、対外広報の報告書作成（年2回教授会報告）。連携研究棟の管理。その他、防災研究所所長、副所長のサポート（主に広報やイベントに関する雑務、意見調整、資料作成等）
6	2012/5/8	自)2012/04/01 至)2013/03/31	富阪和秀 川崎慎吾	教員名：飛田 哲男 グループ名：地盤研究 部門センター名：地盤災害研究 領域分野名：地盤防災解析	遠心力載荷装置を用いた地盤挙動に関する研究 遠心力載荷装置及び床上式クレーンの操作、高速度カメラの設定、計測装置類の設定、実験模型と制御箱の設置等に関して、取り扱いを誤ると危険を伴うので、特に学生の安全面に配慮した指導を含む支援を求めます。
7	2012/5/10	自)2012/04/01 至)2013/03/31	中尾節郎	教員名：渋谷 拓郎 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 領域分野名：海溝型地震	紀伊半島における稠密リニアレイ観測 紀伊半島での地震臨時観測における観測点保守およびデータ回収（9月）と観測保守作業請負業者の監督。今年度末（3月）に行う予定の観測点撤収の監督。
8	2012/5/10	自)2012/04/01 至)2013/03/31		教員名：渋谷 拓郎 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 領域分野名：海溝型地震	紀伊半島および南九州での地震観測データ処理 紀伊半島と南九州で行っている地震観測データ処理の支援。技術支援職員の監督。データサーバおよび端末の保守および更新の支援。

9	2012/5/10	自)2012/04/01 至)2013/03/31	小松信太郎	教員名：渋谷 拓郎 グループ名：地震・火山研究 部門センター名：地震予知研究 領域分野名：海溝型地震	南九州における稠密リニアアレイ地震観測 南九州で行っている稠密リニアアレイ観測における地震観測点の保守およびデータ回収。新規観測点の調査の支援。
10	2012/5/11	自)2012/04/01 至)2012/09/30	辰己賢一	教員名：森 信人 グループ名：大気・水研究 部門センター名：気象・水象災害研究 領域分野名：沿岸災害	文部科学省気候変動リスク情報創生プログラム 上記の研究プロジェクトは、最新の気候変動予測モデルの結果を下に地球温暖化予測の影響評価を実施するものである（代表者 中北英一教授）。本プログラムおよびCMIP5のGCMのアーカイブを行うためテーマ内で取り扱うデータが広範囲かつ大容量である。また外部の研究参画者に対するデータ共有が必要であり、気象・水象数値モデルのデータハンドリングとそのポストプロセッシングおよびwebデータ配信に精通した技術職員（1名）による長期技術支援を要請したい。
11	2012/5/11	自)2012/04/01 至)2012/03/31	山崎友也	教員名：川瀬 博 グループ名：総合防災研究 部門センター名：社会防災研究 領域分野名：都市空間安全制御	先端施設共用促進事業（文科省） 強震応答実験装置の維持管理-操作業務
12	2012/5/15	自)2012/04/01 至)2012/09/30	辰己賢一	教員名：石川 裕彦 グループ名：大気・水研究 部門センター名：気象・水象災害研究 領域分野名：暴風雨・気象環境	数値気象予報・解析システムの構築による気象・水象災害の予測技術の向上 数値気象予報・解析システムの構築とリアルタイム化。上記システムのための気象・水象数値情報のデータベース化。WRF4Dvarによる同化計算と関連する技術情報の収集と整理
13	2012/5/15	自)2012/04/01 至)2012/09/30	辰己賢一	教員名：丸山 敬 グループ名：大気・水研究 部門センター名：気象・水象災害研究 領域分野名：耐風構造	気象現象の予測およびそれに伴う災害予報に関する研究 メソ気象モデルを用いた数値気象予報システムを構築し、ウィンドファーム等を対象とした気象予測および、強風等による被害を予報するシステムを構築する。そのための計算システムをワークステーション上に構築する。
14	2012/5/22	自)2012/04/01 至)2012/09/30	辰己賢一	教員名：山敷 庸亮 グループ名：総合防災研究 部門センター名：社会防災研究 領域分野名：防災技術政策	地表面農業モデルの開発と気候変動影響評価への応用 地球規模農業モデル iGAEZの改良とデータ収集。パソコン上で動作するモデルの開発。各種データセットの整備や関連データベースの作成。計算機環境の整備や教員・学生からの要請に応じたデータセットの作成・提供
15	2012/7/22	自)2012/07/23 至)2013/03/31	山崎友也	教員名：松島 信一 グループ名：総合防災研究 部門センター名：社会防災研究 分野領域名：都市空間安全制御	波動干渉法による実建物の耐震安全性診断技術の開発に関する研究 昨年度に技術室のご支援をいただいて設置した実大架構実験棟の地震計の観測環境の整備・改善作業。強震応答実験棟へ設置した無線LAN基地局との通信確認作業を伴う。
16	2012/10/5	自)2012/04/01 至)2012/03/31	米田格	教員名：矢守 克也 グループ名：総合防災研究 部門センター名：巨大災害研究 分野領域名：巨大災害過程	阿武山観測所のサイエンス・ミュージアム化事業および「満点計画」と連携した 防災教育プログラムの推進 阿武山観測所サイエンス・ミュージアム化事業のための資料作り、およびイベント準備。また「満点計画」や阿武山観測所を利用した防災教育プログラム開発の補佐など。
17	2012/10/26	自)2012/11/01 至)2013/03/31	米田格	教員名：林 泰一 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：流域圏観測	潮岬風力実験所の気象観測 潮岬風力実験所の気象観測資料の収録、宇治への通信、データベースの作成および公開

18	2012/12/5	自)2012/12/01 至)2013/03/31	山崎友也	教員名：竹見 哲也 グループ名：大気・水研究 部門センター名：気象・水象災害研究 分野領域名：暴風雨・気象環境	文部科学省気候変動リスク情報創生プログラム 上記の研究プロジェクトは、最新の気候変動予測モデルの結果を下に地球温暖化予測の影響評価を実施するものである（代表者 中北英一教授）。本プログラムおよびCMIP5のGCMのアーカイブを行うためテーマ内で取り扱うデータが広範囲かつ大容量である。また外部の研究参画者に対するデータ共有が必要である。そのため、データサーバの管理、気象水象に係る大規模データの取り扱いとそのポストプロセッシング、またデータ通信等に精通した技術職員による長期技術支援を要請したい。
19	2012/4/1	自)2012/04/01 至)2013/03/31	富阪和秀 山崎友也 米田格	教員名：竹門 康弘 グループ名：大気・水研究 部門センター名：水資源環境研究 分野領域名：社会・生態環境	国交省河川技術研究開発「河川環境のための河床地形管理手法に関する技術開発」 木津川で計測中のハイドロフォン、濁度計、水温計、水位計の継続値や降水量データをダウンロードし、分析に供するシステムを運用する支援、ならびに計測情報から土砂移動量を推定する方法を確立するための野外実験の補助。

[実験所・隔地観測所]

1	2012/4/20	自)2012/04/01 至)2013/03/31	米田格	教員名:西上 欽也 グループ名:地震・火山研究 部門センター名:地震予知研究 分野領域名:地震予知情報	施設名称:阿武山観測所 施設維持管理、観測・計測業務データ処理、観測・計測器機維持管理 公用車管理、地元自治体等対応、
2	2012/4/20	自)2012/04/01 至)2012/03/31	濱田勇輝	教員名:西上 欽也 グループ名:地震・火山研究 部門センター名:地震予知研究 分野領域名:地震予知情報	施設名称:上宝観測所 施設維持管理、観測・計測業務データ処理、観測・計測器機維持管理 公用車管理、地元自治体等対応、
3	2012/4/20	自)2012/04/01 至)2013/03/31	中尾節郎	教員名:西上 欽也 グループ名:地震・火山研究 部門センター名:地震予知研究 分野領域名:地震予知情報	施設名称:鳥取観測所 施設維持管理、観測・計測業務データ処理、観測・計測器機維持管理 公用車管理、地元自治体等対応、
4	2012/4/20	自)2012/04/01 至)2013/03/31	近藤和男	教員名:西上 欽也 グループ名:地震・火山研究 部門センター名:地震予知研究 分野領域名:地震予知情報	施設名称:徳島観測所 施設維持管理、観測・計測業務データ処理、観測・計測器機維持管理 公用車管理、地元自治体等対応、
5	2012/4/20	自)2012/04/01 至)2012/03/31	小松信太郎	教員名:西上 欽也 グループ名:地震・火山研究 部門センター名:地震予知研究 分野領域名:地震予知情報	施設名称:宮崎観測所 施設維持管理、観測・計測業務データ処理、観測・計測器機維持管理 公用車管理、地元自治体等対応、
6	2012/5/8	2012年度	園田忠臣 高山鉄朗 市川信夫	教員名:井口 正人 グループ名:地震・火山研究 部門センター名:火山活動研究 分野領域名:火山噴火予知	施設名称:火山活動研究センター桜島火山観測所 施設維持管理、観測・計測業務、データ処理、観測・計測器機維持管理 公用車管理、地元自治体等対応、開発・設計、その他(具体的に) 桜島及び霧島山麓から諏訪之瀬島に至る本所と3観測室及び地震、GPS、潮位等の約60観測点の 施設・観測機器の維持管理、水準測量・重力測定・火山ガス測定等繰り返し観測の実施、観測 実験用補助機器の設計・制作、共同観測研究の支援・データ回収・処理、研究資料・試料の保 全・安全衛生管理、火山噴火予知連絡会等の資料作成、週1回の宿直・月1回の日直勤務
7	2012/5/10	2012年度	久保輝広	教員名:馬場 康之 グループ名:大気・水研究 部門センター名:流域災害研究 分野領域名:河川防災システム	施設名称:白浜海象観測所 施設維持管理、観測・計測業務、データ処理、観測・計測器機維持管理 公用車管理、地元自治体等対応、開発・設計、その他(具体的に) 災害調査

8	2012/5/10	2012年度	吉田義則 藤原清司	教員名：米山 望 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：都市耐水	施設名称：宇治川オープンラボラトリーにおける技術支援業務等 施設維持管理、 観測・計測業務、 観測・計測器機維持管理 公用車管理、 その他（具体的に） 流域災害研究センター宇治川オープンラボラトリーを円滑に運営するに当たり、施設全般の保守・管理、また、所内外の共同利用研究者を含めた研究者や学生等の利用者に対する助言や実験支援などに携わっていただきたい。
9	2012/5/17	2012年度	市田児太郎 志田正雄	教員名：堤 大三 グループ名：大気・水研究 部門センター名：流域災害研究 分野領域名：流砂災害	施設名称：穂高砂防観測所 施設維持管理、 観測・計測業務、 データ処理、 観測・計測器機維持管理 公用車管理、 地元自治対等対応、